

事務事業実績測定調査書

10419030004	旧田中家鋳物民俗資料館管理運営事業		
測定年度	2019(R1)年度	13500650	観光にぎわい部文化財課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	
	取り組みの方向	70.歴史文化遺産を活用したまちづくりを推進し、情報発信を充実することにより、まちへの愛着を育みます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1984(S59)年度		～		
根拠法令等	旧田中家鋳物民俗資料館条例、旧田中家鋳物民俗資料館条例施行規則、旧田中家鋳物民俗資料館条例使用料に関する規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ターゲットが抱える課題				
事業概要	<p>所在地は、藤阪天神町5-1。 枚方上之町の田中家は古くから鋳物業を営み、江戸時代には真継家から独占的営業を許され、河内国惣官鋳物師として河内の鋳物師を統率し、梵鐘、鍋、釜などを鋳造していた。 本市は、田中氏から鋳物工場と主屋の寄贈を受け、藤阪天神町に移築復原し、昭和59年10月資料館として開館した。鋳物工場では鋳物の歴史、主屋では民俗文化財を展示している。 平成20年に、「鋳物づくり」等ができる工房をオープンした。体験工房では「鋳物づくり」、「彫金」や「七宝焼」などが体験できる主催講座を開催するほか、美術・工芸などの創作活動を行うサークル等に有償(一部減免あり)で工房及び付属設備の貸し出しを行っている。 平成29年度まで(公財)枚方市文化財研究調査会へ委託していた民俗文化財収集・整理作業については、平成29年度実績まで文化財保護管理事業としていたが、平成30年度に同会の解散に伴い事業統合し、同年度から当事業へ再編成した。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	来館者アンケートで「満足」と回答したものの割合。 「満足」「やや満足」と回答した数÷全回答数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	80	80	80	80		
実績	88.6					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.75	5.36	5.70
正職員数	0.75	0.72	0.53
非正規職員数(計)	0.00	4.64	5.17
再任用職員数	0.00	0.00	0.15
任期付職員数	0.00	1.65	0.95
非常勤職員数	0.00	1.70	2.80
臨時職員数	0.00	1.29	1.27
■人件費総額(千円)	5,906	19,630	20,473
正職員人件費(換算額)	5,906	5,725	4,249
非正規職員人件費(計)	0	13,905	16,224
再任用職員人件費(換算額)	0	0	765
任期付職員人件費(換算額)	0	6,658	3,948
非常勤職員人件費(実額)	0	4,535	8,861
臨時職員人件費(実額)	0	2,712	2,650
■直接経費(千円)	90,285	12,325	10,120
■事務事業の総計(千円)	96,191	31,955	30,593
国庫支出金	0	0	0
府支出金	3,000	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	1,302	1,414	1,355
その他	0	0	0
一般財源	91,889	30,541	29,238

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	110.75%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p> 鋳物工場・主屋の公開活用、寺子屋講座などの実施及び体験工房の利用促進を進め、利用者の増加を図った。また、小学校からの体験学習、社会見学の受け入れ及び出前講座等を実施し、学校との連携を進めた。今後の学校教育との連携を進めるため、国立民族学博物館との共同研究「地域文化の宝箱(教育パック)」を検討した。また、体験工房の新規参加者の増加を図るべく、新規メニューの検討、お試し参加等を実施するとともに、広く周知するため新たに体験工房のリーフレットを作成した。新型コロナウイルス感染防止のため、3月2日以降の見学停止、3月8日以降のイベント中止とした。そのため、例年に比べ入館者、出前授業の利用が減少するとともに、イベント関連の委託料・報償金・消耗品等の支出額が減少した。 </p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p> 実施に向け「地域文化の宝箱(教育パック)」の検討・制作を進めるとともに、体験工房主催講座については令和元年度に検討した新規メニューを本格実施する。令和2年度にはについては、新型コロナウイルス感染防止を図るため、実施回数・内容・定員を検討した上で実施する。 </p>	

事務事業実績測定調査

10419030005	古文書講座開催事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500650	観光にぎわい部文化財課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	
	取り組みの方向	70.歴史文化遺産を活用したまちづくりを推進し、情報発信を充実することにより、まちへの愛着を育みます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1994 (H6) 年度		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方に残されてきた近世の古文書を読み、その歴史的背景を知ることにより、郷土に対する市民の愛着を醸成するとともに、史料の保存活用の重要性を認識する。				
事業概要	枚方地域の古文書をテキストにして古文書講座を開催し、枚方の歴史に対する認識を深めるとともに、郷土愛を育てることを目的に、春の入門講座と秋の中級講座(それぞれ計5回/各講座50人募集)を実施する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	受講者アンケートで「満足」と回答したものの割合					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	80	80	80	80		
実績	94.11					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.20	0.25	0.28
正職員数	0.10	0.10	0.02
非正規職員数(計)	0.10	0.15	0.26
再任用職員数	0.00	0.00	0.11
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.10	0.15	0.15
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,122	1,217	1,144
正職員人件費(換算額)	787	795	160
非正規職員人件費(計)	335	422	984
再任用職員人件費(換算額)	0	0	561
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	335	422	423
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	230	236	200
■事務事業の総計(千円)	1,352	1,453	1,344
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	71	92	101
その他	0	0	0
一般財源	1,281	1,361	1,243

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	117.64%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>入門講座は5月27日～6月24日の毎週月曜日(計5回)に実施した。 中級講座は10月7日～12月9日の隔週月曜日(計5回)に実施した。 平成26年度から、中級講座で、受講料の一部を徴収するとともに、入門・中級ともに募集人員を40人から50人に変更している。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>本市の史料をテキストに行う講座は他になく、受講者の満足度も高いため、現状のまま継続する。今後も講座の周知に努め、新規受講者の増加を図る。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染防止を図るため、実施方法の見直し及び回数・定員等の検討を行った上で実施する。</p>	

事務事業実績測定調査

10419030006	市史編さん年報発行事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500650	観光にぎわい部文化財課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	
	取り組みの方向	70.歴史文化遺産を活用したまちづくりを推進し、情報発信を充実することにより、まちへの愛着を育みます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2004 (H16) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民が自分の住む地域の歴史を知ることで、郷土に対する愛着が醸成され、学生・研究者によって、本市の歴史研究の蓄積が進み、地域の歴史像がより豊かなものとなるとともに、本市の過去の写真や歴史に関する叙述がマスメディアや企業PR誌等に掲載され、市の魅力発信がなされている状態。				
事業概要	枚方市史年報をはじめ市史に関する刊行物の編集、歴史資料の収集・整理・保存を行い、また、市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に応えることで、市民の郷土史に対する理解を深め、市民文化の向上を図ることを目的として、歴史資料の収集・整理・保存ならびに市民の歴史に関する照会及び資料利用等の要望に応えるとともに、枚方市史年報を発行する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	レファレンス件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	240	250	260	270		
実績	372					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	4.63	4.48	5.25
正職員数	0.35	0.46	0.37
非正規職員数(計)	4.28	4.02	4.88
再任用職員数	0.00	0.00	0.61
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	3.90	3.85	3.85
臨時職員数	0.38	0.17	0.42
■人件費総額(千円)	7,727	7,580	10,536
正職員人件費(換算額)	2,756	3,657	2,966
非正規職員人件費(計)	4,971	3,923	7,570
再任用職員人件費(換算額)	0	0	3,110
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	4,221	3,598	3,603
臨時職員人件費(実額)	750	325	857
■直接経費(千円)	1,566	1,050	2,325
■事務事業の総計(千円)	9,293	8,630	12,861
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	101	134	380
その他	0	0	0
一般財源	9,192	8,496	12,481

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	155.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>近世文書の複写版を18冊(2992コマ)、『香里団地自治会報』複写版を1冊(196コマ)作成し、郷土資料・行政刊行物・歴史図書等の歴史資料を868冊収集・整理・保存した。また、禁野火薬庫爆発遭難手記・枚方市史年報第22号を発行した。</p> <p>歴史的文書を保管する棚を、伊加賀スポーツセンター内収蔵スペースに設置したことにより直接経費が増加した。また、平成30年までは市史資料室の常駐職員は非常勤職員一人であったが、令和元年度は再任用職員が一人増えたので、人件費が増加した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>地域社会の記憶装置としての役割を果たすためには、記録資料の収集・保存・活用といった従来の業務を継続する必要がある。今後も専門的なレファレンス機能を市民に広くアピールし、資料の利用を促進する。</p>	

事務事業実績測定調査

10419030007	市指定文化財補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500650	観光にぎわい部文化財課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	
	取り組みの方向	70.歴史文化遺産を活用したまちづくりを推進し、情報発信を充実することにより、まちへの愛着を育みます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1996 (H08) 年度		~		
根拠法令等	枚方市文化財保護条例、枚方市補助金等交付規則(昭和40年枚方市規則第30号)				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	「枚方市文化財保存活用基金」活用も視野に入れ、市指定文化財が市民共有の財産として後世に継承する一助となり、適切な保存がなされている状態				
事業概要	市民共有の財産である市指定文化財について、適切な保存管理を行うことを目的として、建造物の所有者に40,000円、建造物を除く有形文化財又は記念物の所有者に20,000円を交付することによって、市指定文化財の保存管理を支援する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	翌年度に継承する市指定文化財件数(補助対象)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	14	14	14	14		
実績	14					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.09	0.50	0.46
正職員数	0.09	0.45	0.26
非正規職員数(計)	0.00	0.05	0.20
再任用職員数	0.00	0.05	0.20
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	709	3,824	3,104
正職員人件費(換算額)	709	3,578	2,084
非正規職員人件費(計)	0	246	1,020
再任用職員人件費(換算額)	0	246	1,020
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	320	965	340
■事務事業の総計(千円)	1,029	4,789	3,444
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,029	4,789	3,444

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>・廃渚院観音寺鐘楼・梵鐘など3件の建造物と、意賀美神社の算額など建造物を除く有形文化財・民俗文化財及び記念物11件に交付した(340千円)。 ・平成30年度は、平成30年台風第21号により被害を受けた文化財の復旧の促進を図るため、当該補助対象事業に要する経費の2分の1以内で市長が定める額を交付したため、例年よりも人件費および直接経費が高くなっている。令和元年度は例年並みである。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	指定文化財の適切な保存管理を行うため、補助金を交付していく。	

事務事業実績測定調査

10419030009	特別史跡百済寺跡再整備事業			
測定年度	2019(R1)年度	13500650	観光にぎわい部文化財課	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち		
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち		
	取り組みの方向	70.歴史文化遺産を活用したまちづくりを推進し、情報発信を充実することにより、まちへの愛着を育みます。		
	実行計画事業名	特別史跡百済寺跡再整備事業		
総合計画体系②	基本目標			
	施策目標			
	取り組みの方向			
	実行計画事業名			

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2004(H16)年度		～		
根拠法令等	文化財保護法、地方自治法、枚方市専門委員設置規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	百済王氏の氏寺として、あるいは中央の官寺以外、地方の寺院としては異例ともいえる本格的伽藍配置をもつ古代寺院跡として広く認知されるとともに、当時の古代寺院の景観を体感できる歴史学習の場として広く市民等に利用される状態。				
事業概要	<p>特別史跡百済寺跡は、昭和40年から42年の整備後、40年以上の歳月を経て各所の老朽化損壊変形が目立ち、表土の流失が著しい状態であることから、雨水流出抑制対策を含めた抜本的な遺構保存工事と合わせ、史跡公園として再整備を行う。再整備に当たっては、保存活用を図るための必要な調査及び資料の収集と史跡保全の指針を得るために専門委員で構成される特別史跡百済寺跡再整備検討委員協議会を設置し、百済寺跡の再整備に関する事項について調査審議する。</p> <p>平成16年度に測量調査実施、平成17年度から平成25年度の9年間で発掘調査を行い、並行して整備準備を行う。また、再整備に向け、平成24年度から平成25年度までの間に基本計画の策定と基本設計を行う。平成26年度に実施設計を行い、平成27年度から再整備工事に着手している。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	スマホアンケートにおいて百済寺跡が貴重な文化財であることを「知っている」と回答した人の割合					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	10	15	20		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	4.07	0.56	2.65
正職員数	1.07	0.56	0.61
非正規職員数(計)	3.00	0.00	2.04
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	3.00	0.00	2.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.04
■人件費総額(千円)	8,492	4,453	4,987
正職員人件費(換算額)	8,425	4,453	4,890
非正規職員人件費(計)	67	0	97
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	67	0	19
臨時職員人件費(実額)	0	0	78
■直接経費(千円)	77,449	85,733	102,103
■事務事業の総計(千円)	85,941	90,186	107,090
国庫支出金	22,723	32,800	31,799
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	63,218	57,386	75,291

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の目標の実績度	—	
事務事業の実績	<p>平成17年度から平成25年度にかけて再整備に向けて発掘調査を実施。 平成27年度から再整備工事を本格的に着手。 令和元年度は、堂塔院内の回廊西半部及び前庭部を土系舗装し、東北院の一部を基盤整備した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な今後の取組方針	<p>令和2年度は、東南角地の整備と公園東側の基盤整備、築地堀の復元実施設計を行うとともに、関連する由緒のある自治体との交流事業の可能性(友好交流資料館提携や物産紹介など)について協議検討を進める。 事業計画に基づき終了年度(令和5年度)までに確実な実施が求められるため、現状のまま継続とする。</p>	

事務事業実績測定調査

10419030010	楠葉台場跡保存活用事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500650	観光にぎわい部文化財課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	
	取り組みの方向	70.歴史文化遺産を活用したまちづくりを推進し、情報発信を充実することにより、まちへの愛着を育みます。	
	実行計画事業名	楠葉台場跡保存事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2007 (H19) 年度		～		
根拠法令等	文化財保護法、枚方市文化財保護条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全国的にも類例のない稀少な河川台場跡として広く認知されるとともに、幕末から近代への激動期を体感できる歴史学習の場として広く市民等に利用される状態。				
事業概要	全国的にも稀少な河川台場跡として平成23年2月に国の史跡に指定された楠葉台場跡については、幕末から近代への激動期を体感できる歴史学習の場として、広く市民の利用に供するため、史跡の適正な保存と活用を行うことを目的に、市民が安全快適に利用できるよう史跡内の除草や清掃などを行い、史跡の適正な保存管理を推進する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	スマホアンケートにおいて台場跡が貴重な文化財であることを「知っている」と回答した人の割合					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	10	15	20		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.40	0.30	0.36
正職員数	0.40	0.30	0.36
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,150	2,385	2,886
正職員人件費(換算額)	3,150	2,385	2,886
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	11,392	13,680	15,760
■事務事業の総計(千円)	14,542	16,065	18,646
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	14,542	16,065	18,646

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<p>史跡の適正な保存と管理のため、史跡内の除草、灌水、清掃などを公園部と大堀部(雨水調整池)に分けて実施。令和元年度は、数年に一度実施する大堀底部の清掃(浚渫)を実施したことにより直接経費が増加した。また、令和元年度は公園部の除草と大堀部の除草及び清掃を合わせて11回(目標 12回)(実績内訳…公園部の除草6回、大堀部の除草4回、清掃1回)行った。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>除草及び清掃等の実施回数(公園部7回、大堀部4回)を基準とし、効率的な手法で実施するなど費用の低減に努める。 除草や清掃について、適切な時期・回数をもって行うことが史跡の環境保全にもつながることから、現状のまま継続とする。 歴史の薫り豊かなまちづくりや観光施策への活用・展開を図り、まちへの誇りと愛着を育むため、各種イベントの開催や再現イメージの効果的な伝達方策等について検討する。</p>	

事務事業実績測定調査

10419030011	文化財啓発普及事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500650	観光にぎわい部文化財課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	
	取り組みの方向	70.歴史文化遺産を活用したまちづくりを推進し、情報発信を充実することにより、まちへの愛着を育みます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	文化財保護法、枚方市文化財保護条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	多くの市民の理解と共感を得て、基金活用も含めた文化財の啓発普及により、郷土愛が生まれ次世代へ確実に継承される状態。				
事業概要	文化財説明板の設置及び各種催しの開催、啓発印刷物の発行などを通して、市民の文化財に対する認識を深め、文化財保護意識の高揚を図ることを目的として、主に次の事業を行う。 ○文化財説明板の新たな設置や古くなった説明板の建替・修繕○文化財防火デー(市と枚方寝屋川消防組合が、文化財を所蔵する社寺等で消防訓練を実施)○歴史講座、歴史ウォーク(市内文化財めぐり等)、歴史シンポジウム○枚方・百済フェスティバル(毎年5月に開催する古代の枚方と朝鮮半島の交流の歴史を伝えるイベント)○文化財の展示(輝きプラザきらら2階展示ルーム等で、発掘調査の出土遺物等を展示)○発掘調査現地説明会○刊行物(文化財関係図書等)の発行など○出前講座				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	受講者アンケートで「満足」と回答したものの割合					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	80	80	80	80		
実績	86.29					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.62	3.47	3.30
正職員数	1.33	1.10	0.85
非正規職員数(計)	0.29	2.37	2.45
再任用職員数	0.00	0.02	0.43
任期付職員数	0.00	0.60	0.30
非常勤職員数	0.20	1.70	1.70
臨時職員数	0.09	0.05	0.02
■人件費総額(千円)	11,303	15,435	14,316
正職員人件費(換算額)	10,472	8,746	6,814
非正規職員人件費(計)	831	6,689	7,502
再任用職員人件費(換算額)	0	98	2,192
任期付職員人件費(換算額)	0	2,421	1,247
非常勤職員人件費(実額)	671	4,068	4,024
臨時職員人件費(実額)	160	102	39
■直接経費(千円)	921	1,509	1,608
■事務事業の総計(千円)	12,224	16,944	15,924
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	301	324	226
その他	0	0	0
一般財源	11,923	16,620	15,698

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	107.86%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>・説明板については、三之宮神社、御殿山神社の建替え、片埜神社石造灯籠、史跡楠葉台場跡小型案内板の修繕のほか、文化財連続講座(年4回)を開催し、延べ408人の参加があった。11月に親子を対象とした市民歴史講座「ひらかた歴史探検隊-枚方宿を歩こう-」を開催したほか、生涯学習広域講座「聞く・見る・歩く 北河内パート20」や文化財防火デーに伴う消防訓練(於:片埜神社)、ジュニア文化財学級の実施、「ひらかた文化財だより」の発行など、枚方市内の文化財について市内外に啓発・普及を行った。</p> <p>・令和元年度は新型コロナウイルス感染症対策として、2月以降の講座等を中止した。</p>	
今後の方向性	拡充・重点化	
具体的な 今後の取組方策	<p>令和2年度については、新型コロナウイルス感染防止を図るため、実施方法の見直し及び回数・定員等の検討を行った上で実施する。</p> <p>また、特別史跡百済寺跡、史跡楠葉台場跡、枚方宿など先人から伝えられてきた多様な歴史文化遺産について、記録・保存するとともに、歴史の薫り豊かなまちづくりや観光施策への活用・展開を図り、まちへの誇りと愛着を育むため、新たな各種イベントの開催や再現イメージの効果的な伝達方策等について検討する。</p>	

事務事業実績測定調査

10419030013	文化財施設等維持管理事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500650	観光にぎわい部文化財課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	
	取り組みの方向	70.歴史文化遺産を活用したまちづくりを推進し、情報発信を充実することにより、まちへの愛着を育みます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		～		
根拠法令等	文化財保護法、枚方市文化財保護条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	多くの市民の理解と共感を得て、確実な文化財収蔵施設の維持管理を実施し、活用の機会拡大が図れるとともに、次世代へ確実に継承された状態。				
事業概要	貴重な文化財を保存管理するため、収蔵施設の維持管理を行う。蹠跏東プレハブ文化財収蔵庫、元山田幼稚園施設文化財収蔵庫では、市内の発掘調査で出土した埋蔵文化財や市内で収集した民具などの文化財を収蔵している。山田分室では、市内発掘調査で出土した埋蔵文化財の復元等整理作業を行うと同時に一部を収蔵している。・蹠跏東プレハブ文化財収蔵庫(翠香園町30、平成3年建築、延床面積129.6㎡)・元山田幼稚園施設文化財収蔵庫(甲斐田町1-27、昭和48年建築、延床面積408.06㎡)・山田分室(都丘町6-9、昭和60年建築、文化財課所管占有延床面積556.326㎡)				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	点検に係る当初予算額に対する決算額の割合【決算額／当初予算額】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	70.35					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.22	0.81	0.87
正職員数	0.22	0.46	0.42
非正規職員数(計)	0.00	0.35	0.45
再任用職員数	0.00	0.00	0.05
任期付職員数	0.00	0.25	0.10
非常勤職員数	0.00	0.10	0.30
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,732	4,948	4,939
正職員人件費(換算額)	1,732	3,657	3,367
非正規職員人件費(計)	0	1,291	1,572
再任用職員人件費(換算額)	0	0	255
任期付職員人件費(換算額)	0	1,009	416
非常勤職員人件費(実額)	0	282	901
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	516	7,670	17,818
■事務事業の総計(千円)	2,248	12,618	22,757
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	110	104	111
一般財源	2,138	12,514	22,646

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	70.35%	50%以上80%未満 : やや低い
事務事業の実績	<p>各施設の維持管理のため、警備委託、清掃委託、各種設備の保守点検委託を必要に応じて実施するとともに、日常的な建物の安全管理を実施した。 下記の修繕及び工事等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山田分室トイレ水栓金具修繕 ・元山田幼稚園施設屋根改修工事 ・山田分室空調設備更新工事実施設計委託 ・元山田幼稚園施設市有建築物定期点検(5年に1回) 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方針	<p>各施設に分散して収蔵している埋蔵文化財について、整理、分類し、新たな活用策や将来的に活用が見込めないものの適切な処分について、大阪府と協議する。 関係課と連携して施設の計画的な改修を行うとともに、施設の日常管理を適切に実施する。 令和2年度は、山田分室空調設備改修工事、山田分室屋根・外壁更新工事設計委託を予定しており、今後、施設の活用策について検討する。</p>	

事務事業実績測定調査

10419030014	文化財調査事業		
測定年度	2019(R1)年度	13500650	観光にぎわい部文化財課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	
	取り組みの方向	70.歴史文化遺産を活用したまちづくりを推進し、情報発信を充実することにより、まちへの愛着を育みます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1984(S59)年度		~		
根拠法令等	文化財保護法、枚方市文化財保護条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	調査によって把握された市域の歴史文化遺産の価値について、適切に市民に還元することができる状態。 歴史文化遺産の所有者は文化財的価値を把握し、適切に保存管理していくことができる状態。				
事業概要	歴史文化遺産を随時調査し、その年代、美術的・歴史的価値を判断し、文化財としての価値を把握する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	調査の実施により記録または報告に取りまとめた文化財の件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	2	2	2	2		
実績	2					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.33	0.33	0.24
正職員数	0.33	0.33	0.23
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.01
再任用職員数	0.00	0.00	0.01
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	2,598	2,624	1,895
正職員人件費(換算額)	2,598	2,624	1,844
非正規職員人件費(計)	0	0	51
再任用職員人件費(換算額)	0	0	51
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	147	124	67
■事務事業の総計(千円)	2,745	2,748	1,962
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,745	2,748	1,962

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<p>以下の調査を実施した(2件)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小野家住宅主屋、離れ、道具蔵の調査 ・清岸寺大日如来坐像の調査 <p>平成28年度から調査を実施している松宮家住宅主屋、表門、米蔵、西の蔵が国登録有形文化財に登録された。</p> <p>歴史文化遺産の調査対象を検討した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、歴史文化遺産の調査対象を検討し、調査していく。	

事務事業実績測定調査

10419030015	文化財保護管理事業		
測定年度	2019(R1)年度	13500650	観光にぎわい部文化財課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	
	取り組みの方向	70.歴史文化遺産を活用したまちづくりを推進し、情報発信を充実することにより、まちへの愛着を育みます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		～		
根拠法令等	文化財保護法、枚方市文化財保護条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	多くの市民の理解と共感を得て、文化財の保護管理が適切に実施された状態。				
事業概要	<p>枚方市域に残された文化財(埋蔵文化財・民俗文化財)を将来に伝えるべく、適切に保護・保存するとともに、市民に対して文化財保護への理解と郷土への愛着を育むことを目的に、主に次の活動を行う。</p> <p>○茄子作遺跡・藤田山遺跡・蹉跎東プレハブ文化財収蔵庫・伝王仁墓等の文化財用地の草刈り等を行い、保護管理する。○特別史跡百濟寺跡の再整備に伴う発掘調査で出土した金属製品等の遺物について、保存科学処理の実施。○平成30年に実施した光善寺寺内町遺跡の発掘調査で出土した戦国時代に推定される漆器碗について、保存科学処理を実施。○特別史跡百濟寺跡のバス専用駐車場の管理委託の実施○近年樹勢に衰えがみえつつある、府指定天然記念物枚方田中邸のむくについて、平成30年度に計画した保護管理計画に基づき、4ヵ年に渡る樹勢回復作業に着手し、今年度は土壌改良を行った。○平成29年度までは(公財)枚方市文化財研究調査会へ委託していた①埋蔵文化財発掘調査遺物復元整理作業、②民俗文化財収集整理作業を本事業としていたが、同会解散に伴い平成30年度に事業統合するに際し、平成30年度からは①は埋蔵文化財発掘調査事業へ、②は旧田中家鋳物民俗資料館管理運営事業へ再編成した。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	保護管理によって、滅失・毀損せずに翌年度に継承した文化財の件数(遺跡数+天然記念物+民俗1件で計上)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	10	10	10	10		
実績	11					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.43	0.93	0.46
正職員数	0.43	0.85	0.26
非正規職員数(計)	0.00	0.08	0.20
再任用職員数	0.00	0.03	0.15
任期付職員数	0.00	0.05	0.05
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,386	7,108	3,057
正職員人件費(換算額)	3,386	6,758	2,084
非正規職員人件費(計)	0	350	973
再任用職員人件費(換算額)	0	148	765
任期付職員人件費(換算額)	0	202	208
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	42,490	16,432	8,878
■事務事業の総計(千円)	45,876	23,540	11,935
国庫支出金	4,104	4,839	3,738
府支出金	0	110	61
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	41,772	18,591	8,136

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	110.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> 発掘調査により出土した遺物の保存科学処理を実施。 茄子作遺跡、藤田山遺跡、蹉跎東プレハブ文化財収蔵庫、伝王仁墓等で、年2回の草刈りや樹木の剪定を行った。 枚方田中邸のむくについては、平成30年度に策定した管理計画に基づき、土壌改良・定点観測を実施した。 光善寺寺内町遺跡から出土した漆器碗の保存科学処理を実施した。 平成30年度は、台風の被害により復旧に掛かる費用があったが、令和元年度は災害による被害がなかったため、直接経費・人件費が減少した。 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> 出土遺物等の適切な管理保存を、計画的に実施し管理していく。 文化財が所管する用地の草刈り等を定期的に行い、適切に管理していく。また、平成31年度から枚方田中邸のむく周囲の除草も新たに行っている。 枚方田中邸のむくについて、令和元年度～5年度の計画に基づき、土壌改良や剪定等、樹勢回復作業を実施していく。 	

事務事業実績測定調査

10419030016	文化財保護審議会運営事務		
測定年度	2019(R1)年度	13500650	観光にぎわい部文化財課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	
	取り組みの方向	70.歴史文化遺産を活用したまちづくりを推進し、情報発信を充実することにより、まちへの愛着を育みます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	1994(H06)年度		～		
根拠法令等	枚方市文化財保護条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各分野の専門家で構成される文化財保護審議会により文化財の保存と活用に関する重要事項について調査・審議が行われ、その答申を受けて、文化財が適切に保存・活用されている状態。				
事業概要	枚方市文化財保護条例の規定に基づき、文化財の保存と活用に関する重要事項について調査・審議するため、市の附属機関として、文化財保護審議会を設置している。				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし					
指標の説明	—					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	—	—	—		
実績	1					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	7.29	8.37	8.15
正職員数	0.29	0.37	0.11
非正規職員数(計)	7.00	8.00	8.04
再任用職員数	0.00	0.00	0.04
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	7.00	8.00	8.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	2,350	3,018	1,162
正職員人件費(換算額)	2,283	2,942	882
非正規職員人件費(計)	67	76	280
再任用職員人件費(換算額)	0	0	204
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	67	76	76
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	8
■事務事業の総計(千円)	2,350	3,018	1,170
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,350	3,018	1,170

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	-	
事務事業の実績	<p>審議会を1回開催し、文化財の保存と活用に関する重要事項について報告を行った。 ○第1回文化財保護審議会 開催日:令和元年9月5日(木) (1)平成30年台風21号の被害について (2)国登録有形文化財(建造物)の登録について (3)特別史跡百済寺跡再整備事業について (4)「枚方市文化財保存活用基金」及び「ふるさと納税寄附金」の活用について</p> <p>会議録の反訳委託を実施することにより、会議録の作成にかかる人件費の削減を図れた。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>引き続き、専門的な見地から助言を得るため設置する。 令和2年度から始まる14期については、歴史文化遺産の活用を推進する観点から、文化財の公開や普及事業等に関する審議を行っていく。</p>	

事務事業実績測定調査

10419030017	埋蔵文化財発掘調査事業		
測定年度	2019(R1)年度	13500650	観光にぎわい部文化財課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	
	取り組みの方向	70.歴史文化遺産を活用したまちづくりを推進し、情報発信を充実することにより、まちへの愛着を育みます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的の事業	区分	非選択的の事務事業
事業期間	1971(S46)年度		～		
根拠法令等	文化財保護法、枚方市文化財保護条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	調査対象となる事業主等の遺跡保護に対する理解を得ながら、文化財保護法等の趣旨に基づき、手続きや発掘調査等を実施し、埋蔵文化財の確実な保護を図るとともに、その成果をまとめ、公表・公開された状態。				
事業概要	埋蔵文化財の記録保存及び埋蔵文化財の周知の徹底を図るために必要な措置の実施に努める。埋蔵文化財包蔵地内での土木工事等は、届出が義務付けられているため、事業者には「埋蔵文化財の発掘届出・通知書」の提出を求め、それまでの調査結果に基づき調査方法を決定し、必要に応じて試掘確認調査及び本発掘調査を実施し、その成果を概報・年報・報告書等で公表する。調査実施後、発掘調査により出土した遺物の調査・復元・整理を実施(埋蔵文化財発掘調査遺物復元整理作業)。平成29年度まで(公財)枚方市文化財研究調査会へ委託していた埋蔵文化財発掘調査遺物復元整理作業については、平成29年度実績まで文化財保護管理事業としていたが、平成30年度に同会の解散に伴い事業統合し、同年度実績からは埋蔵文化財発掘調査事業へ再編成した。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	成果を取りまとめた報告書等の刊行数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	冊
目標(予測)	2	2	2	2		
実績	3					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	3.54	9.32	8.94
正職員数	1.84	1.73	1.64
非正規職員数(計)	1.70	7.59	7.30
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	1.15	0.60
非常勤職員数	1.70	4.10	4.90
臨時職員数	0.00	2.34	1.80
■人件費総額(千円)	20,188	32,952	31,148
正職員人件費(換算額)	14,488	13,755	13,148
非正規職員人件費(計)	5,700	19,197	18,000
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	4,640	2,494
非常勤職員人件費(実額)	5,700	10,052	12,053
臨時職員人件費(実額)	0	4,505	3,453
■直接経費(千円)	5,276	10,840	10,363
■事務事業の総計(千円)	25,464	43,792	41,511
国庫支出金	850	997	1,312
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	24,614	42,795	40,199

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	150.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・発掘届出書の提出(事務処理)件数 767件、 対応内訳: 試掘・発掘調査106件、工事立会251件、慎重工事410件 ・平成31年度の現地にて調査・立会を行った件数 321件、 内訳: 試掘・発掘調査109件、工事立会 212件 ・国庫補助金対象調査については、「枚方市埋蔵文化財発掘調査概要」、その他の調査については、「枚方市埋蔵文化財発掘調査年報」を刊行し、それぞれの成果を公表した。 ・禁野本町遺跡で2件の本発掘調査を実施し、うち1件で現地説明会を開催した。 ・庁内パソコンのオペレーティングシステムがWindows10に更新するため、それに対応するため文化財システムの改修委託を実施した。 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>引き続き、適切な事務執行、調査・立会等に努めるとともに、試掘・発掘調査及び工事立会の確実な履行を求め、連絡体制等の確立に努める。</p> <p>また、調査の成果を資料整備に反映させていく。</p> <p>突発的な発掘調査に備えるために、効率的な業務体制を目指す。</p>	

事務事業実績測定調書

10419030018	枚方宿鍵屋資料館維持管理事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500650	観光にぎわい部文化財課
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち	
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	
	取り組みの方向	70.歴史文化遺産を活用したまちづくりを推進し、情報発信を充実することにより、まちへの愛着を育みます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2001 (H13) 年度		～		
根拠法令等	地方自治法、枚方市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	歴史・文化財に興味関心がある人、又は潜在的にその要素のある人が、枚方宿、京街道や淀川舟運の歴史について理解を深めることのできる場所や機会として、広く周知された上、適切に提供されている。				
事業概要	枚方宿、京街道や淀川舟運の歴史について広く啓発普及することにより、枚方の歴史に対する認識を深めるとともに、郷土愛を育てることを目的として、枚方宿鍵屋資料館指定管理業務として、①資料館の調査研究展示業務、②資料館の利用その他入場制限に関する業務、③利用料金に関する業務、④施設及び設備の維持管理に関する業務、⑤PR・企画業務、⑥その他業務を実施する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	計画的な修繕料・工事請負費に係る当初予算額に対する決算額の割合【決算額／当初予算額】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.26	0.45	0.93
正職員数	0.26	0.45	0.83
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.10
再任用職員数	0.00	0.00	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	2,047	3,578	7,164
正職員人件費(換算額)	2,047	3,578	6,654
非正規職員人件費(計)	0	0	510
再任用職員人件費(換算額)	0	0	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	24,030	21,070	20,342
■事務事業の総計(千円)	26,077	24,648	27,506
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	26,077	24,648	27,506

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	調査研究及び展示として、企画展、歴史講座、伝統芸能の公演などを開催した。また、小学校の団体見学や一般の団体来館者を積極的に受け入れ、学芸員が展示解説を行うなど来館者の確保に努めた。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	枚方市の歴史に対する認識を深めるため、引き続き、企画展や歴史講座の開催に努め、来館者の確保に努める。また、小学校の団体見学を推進するなど学校教育との連携を深め、郷土愛の醸成を図る。令和2年度については、新型コロナウイルス感染防止を図るため、実施回数・内容・定員を検討した上で実施する。本市と協定を結ぶNICT(国立情報通信研究機構)との連携により、非接触型の展示解説を検討する。	

事務事業実績測定調書

10999990093	文化財課運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	13500650	観光にぎわい部文化財課
総合計画体系	基本目標	9: 施策体系外	
	施策目標	99: 施策体系外	
	取り組みの方向	99: 施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		~		
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、枚方市教育委員会事務局事務分掌規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の事務事業が支障なく執り行われる環境の整備、人員体制、予算の確保等の実現				
事業概要	課の運営事務				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし					
指標の説明	—					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—		

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	2.16	4.13	2.62
正職員数	1.72	2.32	1.13
非正規職員数(計)	0.44	1.81	1.49
再任用職員数	0.00	0.90	1.15
任期付職員数	0.00	0.30	0.00
非常勤職員数	0.10	0.40	0.30
臨時職員数	0.34	0.21	0.04
■人件費総額(千円)	14,519	25,511	15,882
正職員人件費(換算額)	13,543	18,446	9,059
非正規職員人件費(計)	976	7,065	6,823
再任用職員人件費(換算額)	0	4,430	5,863
任期付職員人件費(換算額)	0	1,211	0
非常勤職員人件費(実額)	335	1,018	882
臨時職員人件費(実額)	641	406	78
■直接経費(千円)	907	32,105	3,775
■事務事業の総計(千円)	15,426	57,616	19,657
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	39,060	1,053
一般財源	15,426	18,556	18,604

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の目標の実績度	—	—
事務事業の実績	<p>文化財課所管事務に関して、文化財保護のため適切な執行を行った。 文化財保存活用基金は、令和元年度は具体的な事業実施を行わず、ふるさと納税の指定寄附金事務のみを行ったため当事業に含んでいる。 平成30年度に発生した一般寄附金37,515,196円及び文化財保存活用基金積立金30,000千円は、単年度のみであったため令和元年度は大幅に歳入(その他)及び直接経費が減少した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な今後の取組方策	引き続き、文化財課所管事務の適切な執行に取り組む。	